



おめでとうございます

令和6年度

陸前高田市  
教育委員会表彰

2月1日(土)、令和6年度陸前高田市教育委員会表彰が市コミュニティホールで行われました。本年は長年にわたり市の教育振興の発展に貢献された10人2団体の方々を表彰しました。

◆故 佐々木 倉雄さん (矢作町)  
多年にわたり下矢作公民館主事を務め、地域の社会教育の振興と文化活動の向上に尽力されました。

◆菊池 清子さん (米崎町)  
多年にわたり市地域女性団体協議会の会長などを務め、成人教育の振興に貢献されました。

◆村上 迪弘さん (矢作町)  
多年にわたり文化財調査委員およびその委員長を務め、文化財保護と指定の拡充に貢献されました。

◆大和田 剛史さん (米崎町)  
多年にわたり市卓球協会会長や市体育協会の理事を務め、競技の普及や指導に尽力し、地域住民の体力向上や社会教育に貢献されました。

社会教育功労

◆吉田 重之さん (高田町)  
多年にわたり学校歯科医を務め、本市の小中学生の健康保持の増進に尽力し、学校保健の推進に貢献されています。

◆大木 智春さん (高田町)  
多年にわたり学校医を務め、本市の小中学生の健康保持の増進に尽力し、学校保健の推進に貢献されています。

◆千葉 一榮さん (小友町)  
多年にわたり陸前高田ユネスコ協会会長を務め、ユネスコ理念を啓蒙し、社会教育の振興に貢献されました。

◆及川 セイ子さん (小友町)  
多年にわたり日本舞踊の会長長および芸術文化協会理事を務め、芸術文化の継承発展に貢献されています。

◆舞出 鹿踊保存会 (横田町)  
戦後途絶えていた鹿踊りを復活、再生し、芸能の伝承と後継者の育成活動を行い、伝統文化の普及継承に貢献されています。

◆気仙町けんか七夕保存会 (気仙町)  
けんか七夕の普及啓発活動を行い、後継者の育成と伝統芸能としての伝統文化の普及継承に貢献されています。

◆村上 加奈さん (竹駒町)  
多年にわたり学校歯科医を務め、本市の小中学生の健康保持の増進に尽力し、学校保健の推進に貢献されました。

◆千葉 厚志さん (気仙沼市)  
多年にわたり学校薬剤師を務め、本市の小中学生の健康保持の増進に尽力し、学校保健の推進に貢献されています。

学校教育功労

その他(伝統芸能)

問い合わせ先 市教育委員会管理課管理係(内線551)

教えて SDGs Sustainable Development Goals

その先の笑顔のため、いまできること

★SDGsとは… 自分子どもや孫たちが暮らす未来に、住み続けられる世界を残すため、掲げられた全世界の人が取り組むべき17の目標。

あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか?

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。「その先の笑顔のため、いまできること」編では、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

株式会社ハラルボニー  
丹野 晋太郎さん



丹野さんの母校・高田第一中学校で撮影

普段の仕事の内容を教えてください

法人や自治体の皆さんとともに、主にアートを通じて「障がい」に対するイメージを変える多様なプロジェクトに様々な切り口で取り組んでいます。

SDGsに関する主な取り組みを教えてください

一言で言うなら、障がいのイメージを変えるための「コミュニケーションデザイン」が私たちの取り組みだと思います。アートもそのひとつですが、コミュニケーションには言語だけではない様々な形があります。障がいのある人と同じ空間にすることで多様性に気付くような体験づくりや、その人の能力を最大限生かせる環境を探し出したりすることのお手伝いをしています。

SDGsに関する取り組みの展開、目標などがあればお聞かせください

世の中には「障がいがあるから働けない」「障がいがある人が作ったものは安い」といった勝手なイメージがまだまだあると思います。「どうしたら楽しく一緒に働いていけるか」ということを考えながら、そうした仕組みや場づくりを推進していきたいと思っています。

これからの高田をどんなまちにしていきたいですか

私自身も陸前高田市出身であり、どのような状態が理想の「ノーマライゼーションという言葉のいないまち」なのかということには気にかけています。世の中が色々なことにもっと寛容になることがとても大切で、そこから多様性を認め合える社会ができていくものと思っています。

令和5年度がんばっぺし応援寄附金(ふるさと納税)の使い道を紹介します

◆寄附金活用事業の紹介

地域農業担い手支援事業

事業項目 農林水産業・商工業等の振興のための事業

寄附充当額 838千円

補助事業により購入した高所作業機

地域農業の新たな担い手として、社会経験の豊富な壮年世代の人材(満50歳を迎えた日以降に民間企業などを退職し、農業経営を営み、または営もうとする人)の就農を支援する事業です。

子どもの未来応援事業

事業項目 子ども支援のための事業

寄附充当額 234千円

リユースする制服やスクールバック

使わなくなった市内中学校指定の制服などをお預かりし、必要とする世帯へお渡しする制服リユースや、子どもの居場所づくりなどを推進する団体を支援する事業です。地域全体で子育て家庭を応援します。